

農・林業の持続を どう考えているか

町長 仕組みづくりが一番大事

春日 隆司 議員



バイオマス頓挫説明

質問 12月21日、総合計画審議会から「町民へ丁寧な説明をお願いしたい」と答申があったが説明されず、一方、経済雑誌で丁寧の説明している。その意図は。

町長 11月7日から16日の間の町民懇談会で経過説明した。特別な意図はない。

再質問 今後、企業と連携を密にするとのことであり、しかるべき責任のある方は、企業へ十分配慮すべきでなかったか。

町長 雑誌社の主観で書かれている。

バイオマス導入の経緯

質問 町長は、雑誌対談の中で、バイオエネルギー政策の研究会の立ち上

がりが平成11年、私も参加し発足した産業クラスター研究会。そこで様々な提案をして五味温泉にバイオマスボイラーを導入した、と発言をされている。町長が研究会に参

加した事実は全くない。前町長が林野庁の委員になり、平成13年ビジョン策定。可能性を深めた調査をして平成16年に五味温泉に導入。行政が主体となつて進めた。後世のために事実をはっきりさせておく。

町長 (推進部発足後) 評価委員(一度)となった。産業クラスターに深く関わらせていただいた。資源活用をしっかりと進めエネルギー政策を確立していきたい。

再質問 正確な情報を伝え議論していく時代にきている。

がりが平成11年、私も参加し発足した産業クラスター研究会。そこで様々な提案をして五味温泉にバイオマスボイラーを導入した、と発言をされている。町長が研究会に参

農・林業の持続性

質問 下川の持続性は、産業の基盤があつて、住む条件が整い成り立っている。農・林業の持続をどう考えているか。

町長 仕組みづくりが一番大事。仕組みをつくっていく人材が求められる。

再質問 農業・林業の効率性、収益性向上のためしっかりと基盤を支える。関係する域内の小規模多種経済の基盤をしっかりとつづけていく。しっかりと財源を確保し、町民の方に希望と期待を持つていただくため、しっかりと考え方を明示することが必要。お金が地域内で上手く循環する。これが下川の循環型・内発型発展の基本である。

再質問 町臨時職員が「財政が厳しい」からと雇止めされた。役場は身を切っていない中、理解得られるか。だれ一人取り残されなく、日本一幸せなのか。しっかりと寄り添ってほしい。

臨時職員の雇止め

質問 町臨時職員が「財政が厳しい」からと雇止めされた。役場は身を切っていない中、理解得られるか。だれ一人取り残されなく、日本一幸せなのか。しっかりと寄り添ってほしい。

副町長 一般職の臨時職員を中心に予算を削減。フォローは、担当課の方で実施している。

